

## 1. 汚水処理施設の整備状況について

### (1) 平成 20 年度に連携事業を完了した市町の状況

平成 16 年度認定の 4 市町（別紙 1 参照）は、平成 20 年度末をもって連携事業を完了したが、これら市町における、認定時点の汚水処理人口普及率、認定時点における汚水処理人口普及率の目標値、完了時点の汚水処理人口普及率を取りまとめた（別紙 2）。

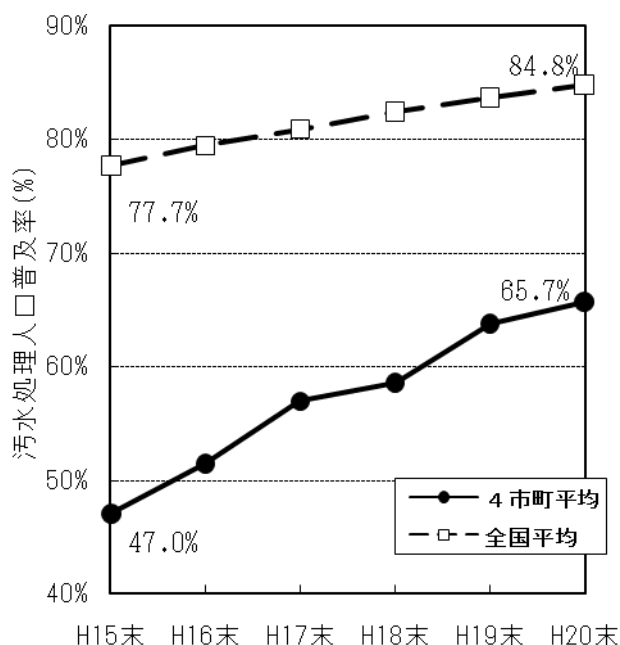
連携事業の認定から平成 20 年度末までに、富山県入善町において下水道の供用開始地区が順次拡大され、広島県三次市において農業集落排水施設が、島根県津和野町においては下水道、農業集落排水施設が新規に供用開始された。また、各市町において浄化槽の整備が進められ、順次供用が開始された。

平成 20 年度末の汚水処理人口普及率は、連携事業着手前である平成 15 年度末と比較して急上昇しており、富山県入善町で 90.0%(+30.6 ポイント)、島根県大社町（現：出雲市）で 74.2%(+18.0 ポイント)、島根県津和野町で 47.9%(+36.6 ポイント)、広島県三次市で 47.1%(+7.6 ポイント)となった。

全国の汚水処理人口普及率は、平成 15 年度末には 77.7%であったものが、平成 20 年度末では 84.8%になり、5 年間で 7.1 ポイント上昇したが、平成 16 年度認定市町についてみると、この 5 か年の間に平均で 18.7 ポイント上昇した。

連携事業の実施により、汚水処理施設整備の促進が図られたといえる。

[平成 16 年度認定市町における効果事例]



※) 平成 20 年度に連携事業を完了した 4 市町の汚水処理人口普及率の平均の推移である。

## (2) 平成 20 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町の状況

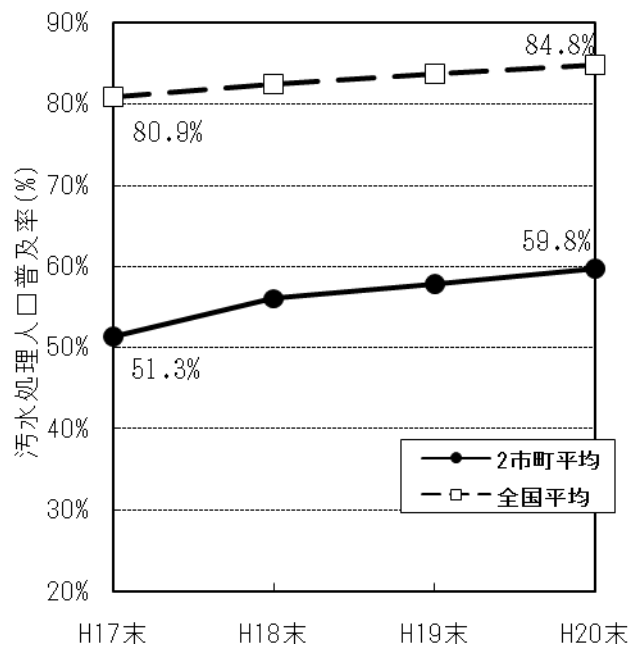
平成 18 年度認定の 2 市町（別紙 1 参照）は、平成 20 年度で連携事業の中間年度（3 年目）を迎えたが（平成 22 年度で完了予定）、これら市町における、認定時点の汚水処理人口普及率、平成 20 年度末時点の汚水処理人口普及率、認定時における平成 22 年度末の汚水処理人口普及率の目標値を取りまとめた（別紙 3）。

連携事業の認定から平成 20 年度末までに、福岡県苅田町において下水道供用開始地区が順次拡大され、大分県宇佐市において農業集落排水施設が新規に供用開始された。また、各市町において浄化槽の整備が進められ、順次供用が開始されている。

平成 20 年度末の汚水処理人口普及率は、連携事業着手前である平成 17 年度末と比較して 3 年間で概ね順調に上昇しており、福岡県苅田町で 72.6%(+14.0 ポイント)、大分県宇佐市で 52.6%(+5.2 ポイント)となった。

全国の汚水処理人口普及率は、平成 17 年度末には 80.9%であったものが、平成 20 年度末では 84.8%になり、3 年間で 3.9 ポイント上昇したが、平成 18 年度認定市町についてみると、この 3 か年の間に平均で 8.4 ポイント上昇した。

[平成 18 年度認定市町における効果事例]



※) 平成 20 年度に連携事業の中間年度を迎えた 2 市町の汚水処理人口普及率の平均の推移である。

## 2. 汚水処理施設からの放流水質の状況について

### (1) 平成 20 年度に連携事業を完了した市町の状況

平成 20 年度に連携事業を完了した市町の各汚水処理施設における平成 20 年度末時点の年平均放流水質を調査し、水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS) 等各値を取りまとめた (別紙 4)。

下水道の年平均の放流水質は、5 箇所の終末処理場で調査した結果であり、農業集落排水施設の年平均の放流水質は、5 箇所の汚水処理施設で調査した結果である。また、浄化槽の放流水質は、補助事業による総設置基数 1,940 基中 164 基 (うち BOD は 94 基) で調査した結果である。

	p H	B O D (mg/l)	S S (mg/l)
下水道	6.8~7.5	1.2~2.7	1.0~3.6
農業集落排水施設	6.5~7.2	1.2~13.6	1.3~13.8
浄化槽	6.0~8.1	1.0~58.0	—

### (2) 平成 20 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町の状況

平成 20 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町の各汚水処理施設における平成 20 年度末時点の年平均放流水質を調査し、水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS) 等各値を取りまとめた (別紙 5)。

下水道の年平均の放流水質は、3 箇所の終末処理場で調査した結果であり、農業集落排水施設の年平均の放流水質は、6 箇所の汚水処理施設で調査した結果である。また、浄化槽の放流水質は、補助事業による総設置基数 2,117 基中 555 基で調査した結果である。

	p H	B O D (mg/l)	S S (mg/l)
下水道	6.8~7.1	1.6~3.2	1.5~2.9
農業集落排水施設	6.7~7.0	1.6~9.4	1.5~4.8
浄化槽	4.2~8.2	1.0~120.0	—

### 3. 公共用水域の水質保全に向けた地域の取組

#### (1) 平成 20 年度に連携事業を完了した市町

平成 20 年度に連携事業を完了した市町では、施設整備の他に以下のような公共用水域の水質保全に向けた取組がなされている。

都道府県名	市町名	公共用水域の水質保全に向けた地域の主要な取組
富山県	入善町	下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽整備事業を連携して推進し、これらの事業を町広報誌で取りあげ地区住民に対し PR 活動を実施
島根県	大社町 (現：出雲市)	ホームページや広報誌で下水道や集落排水への接続促進活動、浄化槽については設置希望者の募集を行い併せて水質保全に向けた PR 活動を展開
島根県	津和野町	下水道等未接続世帯へは手紙を送付し加入を促進、浄化槽の設置補助についてはケーブルテレビや広報誌を活用した PR 活動を実施
広島県	三次市	身近な河川の清掃活動、学習の場としての水辺教室などの取り組みにより河川保護の意識の向上を図る

#### (2) 平成 20 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町

平成 20 年度に連携事業の中間年度を迎えた市町では、施設整備の他に以下のような公共用水域の水質保全に向けた取組がなされている。

都道府県名	市町名	公共用水域の水質保全に向けた地域の主要な取組
福岡県	荏田町	町内河川の草刈・清掃を企業や自治会が中心となって実施し、小学校では水環境に親しむ水辺教室を開催
大分県	宇佐市	農業集落排水事業を実施している地区において地区住民等により水質保全活動を推進